



J A NEWS 2020 No.614

4 J A の直売所 連携へ

7
月号

びざん

J A 徳島市、J A 板野郡、J A 東とくしま、J A 大津松茂の4 J A は農産物直売所において「J A 間連携」の取り組みに向け、各 J A の特産品を他の直売所で販売していく仕組み作りを実践検証する実証試験を開始しました。

6月4日、北部営農経済センターで各 J A の担当者による検討会では特産品や加工品、発送、配送についての話し合いが行われました。

J A 徳島市からはニンジンや枝豆、プロッコリー、レンコン、甘藷や農産工場の加工品などが、J A 板野郡からはニンジンや桃メロン、ニンニクなどが、J A 東とくしまからはオクラやみかん、すだち、米など、また J A 大津松茂からは甘藷や梨などが提案されました。

検討会に参加した営農経済部 井河勝淑部長は「今回、近隣の J A が連携することで、消費者や生産者に喜んでいただける取り組みを始めることができた。これをきっかけに将来的には県下の J A 間で連携を強化していければ。」と話されました。

9月には再度検討会を開き、試験後の課題の検証や秋から冬に向けての取り扱い品目の確認が行われます。

(写真は右から) J A 東とくしま農産物直売所みはらしの丘あいさい広場 西本店長、営農経済部 井河部長、J A 大津松茂直売所岩朝店長、J A 板野郡 J A グリーンアグリ板野 北浦店長

多家長支所ハウスみかん部会 園場巡回

ハウスみかん部会は出荷に向けて、5月中旬に巡回を行いました。現在、部会員12名で極早生ハウスみかんを5箇所、グリーンハウスみかんを9箇所生産。各ハウスの巡回を行い生育状況、病害虫の発生確認、出荷時期と出荷量の予測を各ハウスにて実施し、糖度の計測のためのサンプルを採取しました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で作物における販売単価に大きな影響を及ぼす恐れが予測されますが、多田 榎部会長は「味には非常に自信がある。コロナの影響を受けず販売できることを祈っている。是非、手軽にスーパードで手に取って美味しさを味わってほしい。」と話しました。

初出荷予定は6月1日。出荷のピークは8月から9月まで続き、同部会の2020年産は、総出荷量81tを計画しています。

(写真はハウスで果樹の状態を確認する中央集出荷場 電永係長)



枝豆初出荷 選別施設稼働始まる



北部営農経済センターの枝豆選別施設では、5月5日に枝豆の出荷がスタートしました。2年前より共同選別場稼働し、生産者の選別計画・袋詰め・箱詰め作業の省力化が実現でき、省かれた労力を栽培管理や面積拡大に繋げています。

昨年度、生産者からコンテナで持ち込まれる枝豆の品質や規格の徹底を部会と協議を重ね整備できたことで、施設で行われる選別作業に係る労力が軽減でき効率化が果たされました。枝豆統一部会 前川久部会長は徳島新聞の取材を受け、「春の気温の寒暖の差が大きく心配していたが、今年も品質は上々。冷えたビールと一緒に味わってほしい。」と県内の方に自慢の枝豆の魅力を伝えました。

北部営農経済センター元川課長は、「今年度は共同選別施設開始から3年目にあたるが、枝豆は嗜好品。コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食店は営業自



粛しているところもあるため、販売には苦戦しそうだが、暑い夏を笑顔で乗り切れるよう、さらなる品質向上を目指し美味しい枝豆をお届けしたいです。」と意気込んでいます。



(写真は⑤選別場作業中の従業員、④徳島新聞の取材を受ける前川部会長、⑥収穫作業の様子)

コロナ対策 支援資金説明会を開催

5月15日、多家乡支所においてハウスみかん部会、ハウスすだち部会の会員を対象に「新型コロナウイルス感染症対応資金」と「持続化給付金」の説明会を開催しました。三密を避けるため、空間の広い出荷倉庫において開催し約10名の参加者に金融共済部、営農経済部各部長より約1時間にわたり説明が行われました。

「新型コロナウイルス感染症対応資金」においては、利用該当対象者や概要と特徴、融資期間及び金額、申請方法などの説明を行い、「持続化給付金」においては、相談者には迅速に資料提供と現時点で可能なサポートを行うことを案内しました。

さらに今後は一人一人、相談内容がケースバイケースのため個人単位での対応を行っていきます。

説明会に参加した多家乡支所ハウスみかん部会 多田稔部会長は「このような会を開いてくれたことにより、まず相談をするハードルを低くしてくれた。知らないということが一番損をする。」と話し、また、ハウスすだち部会奥田雅之部会長は「今回の情報をしっかりと活用してこの危機を乗り越えたい。」と話されました。

J A徳島市では5月初旬に同様の説明会を管内の他部会でも開催しており希望があれば今後も部会単位で受け付け、随時開催していく予定です。

コロナに負けるな!! さまざまな 取り組み



布マスクを 市場関係者へ寄贈



東部営農経済センターでは5月17日に管内の5部会が協賛し、主要取引市場に布マスクを贈呈しました。協賛した部会は川内支所甘藷部会、蓮根部会、カリフラワー部会、大根部会、渭東支所ねぎ部会。今後も続くコロナウイルスの感染を危惧して、長期において使用が可能な布マスクを約400枚用意しました。

コロナウイルスの影響で非常に厳しい販売状況下においても、市場関係者には販売に尽力して頂いていると、一部の部会から感謝の気持ちを何かの形で表したいという提案を受け協議したところ、どの部会からも賛同の声があがり今回の寄贈に至りました。

布マスクは大阪や名古屋の市場を中心に同センターより配送が行われ、配送を代行した武田元成センター長は「市場関係者には今後も健康には十分留意していただき、引き続き販売にご協力をいただきたい」と部会からの感謝を伝えました。

こんなときだからこそ おもてなしの心を



管内15カ所の金融共済窓口は、ビニールシートの仕切りを設置しています。

来店者と職員の双方の新型コロナウイルスの感染予防のために職員にはマスクの着用を徹底し、毎日勤務前に検温の義務付けを行っております。

来店者数が一番多い徳島支所の金融共済窓口では4月23日にシートを設置しました。天井に約2.5メートルほど長さの網糸を吊り下げ仕切りのシートの面の高さは必要最小限に設置して店舗の雰囲気明るくしました。

利用者の方からは安心して利用できるとの声を頂いております。

設置をスタートした4月は人事異動の直後であり、窓口担当者はいち早く利用者のお顔を覚えたいところですが、シートはやや半透明になっており、光の差し込み具合や目視する角度によっては表情が伺いにくいことが難点です。しかし、利用者に安心して来店していただくのを第一に今後も取り組みを続ける予定です。店舗内で利用者の手に触れる場所は約2時間に1度アルコール消毒と換気を実施しています。

徳島支所金融共済課 四宮課長は「日々、来店される利用者の気持ちを推し量りながら接客をしていきたい。こんな時だからこそ、おもてなしの心を忘れずに『また来たい』と思っただけのように業務に取り組んでいきたい。」と話されました。



(写真は笑顔で接客中の平田結子係長)

県産花卉を全農で直売

5月20日、全農とくしま園芸部園芸販売課の主催のもと、新型コロナウイルスの影響で販売が低迷する県産の花弁事業の発展を目的として、県庁内の行政関係者とJA会館内の職員あわせて、約200名に販売促進を行いました。

今まで花に触れる機会のない特若い購入者には、これを機会に花に親しんでもらいたいという狙いでJA徳島市からは、この時期に出荷の多いユリ、菊などを販売しました。

初めての試みでしたが直売により購入できると好評で、当JAのユリは特に人気があり380本が即売しました。

中央集出荷場花卉担当の工藤崇祐職員は「花卉を日常的に活用する習慣をアピールできたことにより、少しでも生産者の助けになればうれしい」と話されました。

今回は6月下旬に同様の販売を行う予定です。



ハウスレンコン出荷スタート

東部営農経済センター川内れんこん部会では5月20日にハウスレンコンの初出荷がありました。5月29日に2.5規格への切り替えを行い、本格的な出荷開始にあたり部会で品質検査を行いました。今年は春先の夜温が低かった影響で出荷は例年より出遅れていましたが、6軒の生産者から集まった1.144kgのレンコンが出荷されました。当初コロナウイルスによる影響で販売価格の低迷が懸念されていたましたが緊急事態宣言が解除され、注文は例年どおり潤沢に入り価格も好調。今年は14軒が13畝で栽培を行い、出荷は7月下旬まで続き、総出荷量は130t、販売金額1億3300万円を計画しています。今年も肌が真っ白で品質は良好。細川勝義副部会長は「ステイホームで自宅を過ごす時間が多いこの機会に栄養価が高く、また幅広い調理方法のあるレンコンを是非、活用していただけたら」と笑顔で話されました。



(写真：選別の目合わせを行う②細川勝義副部会長と③広瀬一郎さん)

渭東ねぎ試験圃場播種

5月26日、渭東支所青壮年部笹川裕次さんは、ねぎの試験圃場の播種作業を行いました。管内の圃場で3月に収穫の終わった約10畝の圃場にパワースリム(合)種の種が植えられました。

今回は新しい農薬と肥料を使用し試験栽培を行います。現在、使用している既存の資材よりも幅広く害虫に効果期待できる「ミネクトデュオ」、肥料は「太古の力」などを選択。今まで使用していた農薬、肥料を全部で7パターン組み合わせさせて栽培を行っていきます。調査、収穫は8月末の予定。部会では毎年試験栽培を行い、さらなる品質向上のために研究に取り組んでいます。

同支所岡田隼斗職員は「生産者の方の経費のコストダウンにつながれば」と話されました。



(写真：播種作業を行う笹川裕次さん)

シリーズ Part.2 困った 不動農機サービスセンター 藪内センター長



ナンバープレートの交付申請はお済みですか？

びざん5月号にて「全幅170cm超のロータリー等を装着したトラクターの公道走行」について「大型特殊免許」が必要との内容を掲載させていただきました。農業大学校の大特免許取得が可能な農業機械安全使用者養成講座の夏期クラスも人気です。また、阿北自動車学校でのJA組合員限定キャンペーン(費用が約20,000円ほど安く受講可能)も好評だそうです。

そこで... ご存じかとは思いますが

免許取得後はナンバープレートの申請が必要

↓
運輸支局へのお届け

徳島運輸支局 050-5540-2074

受付時間(登録)
※土・日・祝を除く午前⇒8:45~11:45 午後⇒13:00~16:00

また...

小型特殊自動車(農耕用)【35km/h未満】は公道を走らない車両でも所有をしていれば必ずナンバープレートの交付申請が必要。

↓
各市町村へのお届け

徳島市 市民税課諸税係 621-5067
佐那河内村 住民税課課 679-2114

必要事項の記入と捺印だけで、
ご自身で簡単に申請が
できます。

さらに

小型特殊自動車(農耕用)は自賠責保険には加入できません。公道を走る場合は任意保険へ加入しなければ、事故等があった場合の保障はありません。JA共済で任意保険に加入できるものがあります。この機会にご検討されてはいかがでしょうか。折り込みチラシをご確認ください。ご相談は本所・各支所の金融共済窓口へお気軽に。



加工ゆず 栽培講習会が7月1日に開催決定いたしました!!



場所 佐那河内支所 (佐那河内村下字中川原21)

日時 7月1日(水) 13:00~

講習会では「果樹経営支援対策事業」のご案内があります。

かんきつ類への改植で10畝あたり最大45万円の補助金を受けられます。(未収益期間の支援を含め)

補助率、対象条件などについて現在、決定の範囲の情報提供をさせていただきます。

ご参加希望の方はお電話ください。 ☎ 679-2411 (農産工場)

※コロナウイルス感染状況によりましては、予定を延期させていただく場合もありますのでご了承ください。



皆さん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は5月14日に徳島県で、5月25日には全国で解除されました。6月4日現在新型コロナウイルスの国内感染者数は1万7千人を、死亡数は900人を超えましたが、新たに感染が確認される人数は、東京や北九州市を除いてかなり少なくなっています。第一波は終息と考えられていますが、これからの第二波に備えが必要です。そういった中、新型コロナウイルスの検査方法に新たな展開が見られていますのでご紹介します。

1. 遺伝子検査法：新型コロナウイルスに特異的なRNA遺伝子配列を、RT-PCR法等により増幅し、これを検出する検査法です。感度が高いことが特徴ですが、検査に長時間（1～5時間）かかる・専用の機器および熟練した人材が必要・高コストといった短所があります。また検査の際の鼻咽頭ぬぐい液の採取による感染が危惧されていましたが、6月2日から唾液による検査が認められ、安全で簡単に検体を採取できるようになりました。従来より安全かつ迅速に検査を行えるようになるため、多くの人が受けられるようになるものと期待できます。

2. 抗原検査法：日本では5月13日に世界に先駆けて、新型コロナウイルスに特異的な蛋白を迅速に検出する方法が承認されました。イムノクロマトグラフィ法を用いた検査で、鼻咽頭の検体採取から約30分で結果の判定が可能です（現在唾液を用いた場合の陽性率を検討中です）。上記の遺伝子検査（PCR検査）に比べると感度が低いため、この方法で陽性が得られた場合は陽性と診断できる可能性は高いのですが陰性であったとしても完全に感染を否定できないということに注意が必要です。そのため、抗原検査で陰性とされても新型コロナウイルスを強く疑う場合には、PCR検査の実施を考慮します。

3. 抗体検査：ウイルスに感染後2～3週間経つと血液中にそのウイルスに対する特異的な抗体（IgM、IgG）が産生されてきます。イムノクロマトグラフィ法を用いれば、特別な機器を必要としないで迅速に陽性・陰性を判定することができます。新型コロナウイルスにウイルスの場合感染しても無症状な場合が一定の割合で存在すると指定されていますので、抗体検査法は診断法としてよりは、市中にどれくらい感染の既往もつ人がいるかといった疫学調査により有用と言えます。

お知らせ

島田清弁護士の無料法律相談

通常どおり再開いたしますが感染状況によりましては開催できない場合もございます。

日時 第3土曜日 9:00～12:00

申込先 金融共済部へ事前に予約必要。
088-622-8003

場所 本所1階金融相談室



賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

※予定通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

日時 7月7、14、21日

9:30～15:00

場所 本所1階ローンセンター



理事会だより（令和2年5月29日）

協議事項

1. 第51年度通常総代会資料の提出について
2. 信用の供与等の限度額について
3. 不良債権の処理に関する方針について
4. 2者要請検査 検査書に対する回答書について
5. 3億円超の信用の供与について
6. コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
7. 出資口数の一部減口について
8. その他

報告事項

1. 令和元年度決算における独立監査人の監査報告書について
2. 第51年度監事監査報告書について
3. 令和2年度 不稼働・遊休資産の処分方針について
4. 内部監査の品質に関する内部評価報告書について
5. 資産査定結果について
6. 債権回収について
7. 再発防止策の取り組み状況について
8. その他



飲料水
キャンペーン実施中



復活しました。



爽やかな季節になりました。今年もJAのドリンクの販売キャンペーンをいたします。

商品名	規格	通常価格	値引価格	キャンペーン価格
ザ・すだちCAN	190g×30本	2,290円	▲310	1,980円
すだち微炭酸	250ml×30本	2,780円	▲80	2,700円
ポカリスエットペットボトル	300ml×24本	2,400円	▲300	2,100円
ポカリスエットイオンウォーター	300ml×24本	2,400円	▲300	2,100円
ポディメンテドリンク	500ml×24本	3,820円	▲320	3,500円

ご注文は各営農経済センター・支所購買窓口までお願いします。
キャンペーン期間：令和2年8月31日まで